

開講学部	履修学生 所属学部(学科)	科目名	科目区分	選択・ 必修	配当年次 (履修時期)	単位数	担当教員 (専任・兼任)	ねらい・目標	手法	その他
法	法(法律)	法学入門演習	専門科目	選択	1年 (春学期)	2	専任・兼任・ 兼任	裁判制度の基本的な仕組み、法の解釈と事実認定、裁判所の判例の読み方、公法・私法・刑事法の入門書を講読することにより、法の基本的な構造などについて理解を深めることを目的としている。	討議やレポート	
		法学入門	専門科目	選択	1年 (春学期)	2	専任	法学を学ぶための導入科目とし、最低限必要となる知識や専門用語を学びながら、法律制度を体系的に理解することを目的としている。また、法律の条文や裁判例の読み方等の基本的技術を身につけるだけでなく、法律学科で展開される「講義」形式の授業の受講の仕方についての「入門」を果たすことも併せて目的としている。	講義、試験	
	法(政治)	政治学入門演習	専門科目	選択	1年 (通年)	4	専任・兼任	読む・書く・発言する・議論を理解する等の大学生としての基本的な能力を身につけること、更には政治学という学問のイメージを持たせる。	講読、ディベート、レポート	
		政治学入門Ⅰ	専門科目	必修	1年～4年 (春学期)	2	専任	政治学科において様々な政治学分野の科目を学習するための土台となる概念及び歴史、制度の知識に関して解説し、政治学という学問に関する全体的なイメージを形成することを目的としている。	講義、試験	1年次で履修・修得するよう指導している。
		政治学入門Ⅱ	専門科目	必修	1年～4年 (秋学期)	2	専任			
	法 (国際政治)	国際政治ワークショップ	専門科目	選択	1年 (サマーセッション)	2	専任	現代の国際政治上の問題をテーマとして、講義とグループワークを組み合わせた授業を行い、最終日に各グループによるプレゼンテーションを実施する。今日の国際政治についての基本的な知識を身に付けるとともに、国際政治学科の1年生同士が学業を通じたつながりを作り上げることが本科目の目的としている。	講義、グループプロジェクト	
国際政治への案内		専門科目	必修	1年～4年 (春学期)	2	専任	国際政治の様々な側面についての基礎的な知識や見方を身につけるため、国際政治学科で国際政治についての授業を担当する教員全員が一人2回ずつ講義を行う。2年次から必修科目である「演習(ゼミ)」を履修する際、どの教員の演習(ゼミ)に所属し、国際政治のどの側面に力を入れて学習するか判断材料を提供することも目的としている。	講義、試験	1年次で履修・修得するよう指導している。	
市ヶ谷 リハビリアーツ	文(哲)	基礎ゼミⅠ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (春学期)	2	専任	大学で学習するために必要な基礎的技術を磨く(論文の作成と発表)。 ※殆どの担当者が「哲学的」なテキスト・考え方に基いた授業を展開している。	発表やレポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
	文(哲)	基礎ゼミⅡ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (秋学期)	2	専任	大学で学習するために必要な基礎的技術を磨く(論文の作成と発表)。 ※殆どの担当者が「哲学的」なテキスト・考え方に基いている。	発表やレポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
	文(英)	基礎ゼミⅠ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (春学期)	2	専任	ノートの取り方、図書館の利用の仕方、文献・情報検索、文章の読み方、論理的思考の組み立て、レポート・論文作成、グループワークによる発表の手法など、大学で学ぶための基礎的技術を習得する。各担当者とも同一内容の授業を行なっている。	発表やレポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
	文(史)	基礎ゼミⅠ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (春学期)	2	専任	ノートの取り方、文献・情報検索、レポート・論文作成、発表などの手法を学ぶ。 ※練習課題等で学科色を出している場合もあるが、藤田教授[心理]のメソッドを使用する担当者も多い。	発表やレポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
	文(地)	基礎ゼミⅠ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (春学期)	2	専任	ノートの取り方やデータの集計、文献・情報検索、文献の読み方、グループワークによる課題への取り組み、レポート・論文作成、発表などの手法を学ぶ。	発表や討論、レポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
	文(心)	基礎ゼミⅠ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (春学期)	2	専任	ノートの取り方、文献・情報検索、文献の読み方、要約の仕方、クリティカルシンキング、図書館の利用法、レポート・論文作成の手法を学ぶ。 ※社会人基礎力および学士力を念頭に置いた学士課程教育の一年次であることと、心理学科のカリキュラムとの連続性を明示している。	ペアワーク主体のアクティブ・ラーニング、レポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
	文(心)	基礎ゼミⅡ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (秋学期)	2	専任	協同学習の理論に基づいたグループワークの技法、ゼミ発表スキル、発表資料の作成の仕方を学ぶ。 ※社会人基礎力および学士力を念頭に置いた学士課程教育の一年次であることと、心理学科のカリキュラムとの連続性を明示している。	グループ活動によるPBL、発表	1年生全員が履修するよう指導している。

	法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン	キャリアデザイン入門	ILAC科目/市ヶ谷基礎科目	選択	1年 (春学期)	2	兼任	自分の頭で考え、率先して行動できるようになることを目標とする。課題発見、解決策立案、実行の基礎的な能力を身につける。	講義、試験	
文	文(日)	大学での国語力	専門科目	必修	1年～4年 (春学期)	2	専任	大学での「学び」に必要な基礎的国語力を養う。文献・情報を探索する力、論文を正確に読解する力、論理的文章を執筆する力を習得し、「大学生にふさわしいレポートを書く」ことを目標とする。	討議、レポート提出、小テスト	この科目があるため、基礎ゼミを置いていない。
	文(日)	ゼミナール入門	専門科目	選択	1年 (秋学期)	2	専任	発表や討議の方法を学び、ゼミナール形式の授業に必要な技術や能力を身につける。発表準備、レジュメ作成、質疑応答の仕方を習得し、「レジュメを適切に作成して研究成果を口頭発表する」ことを目標とする。	発表や討議	選択科目だが、「大学での国語力」に続けて必ず履修するよう指導し、受講クラスも指定している。
経営	経営	入門演習	演習 (専門科目)	選択	1年	2	専任・兼任	文献・情報の扱い方、事例研究と討議、グループワークや発表等の活動を通じて、大学での学び方と経営学の基礎知識について習得する。扱う具体的なテーマは担当者によって異なるが、英語コミュニケーションの向上や社会人として必要なマナーなど大学生の意識向上を含める授業もある。	グループ活動、発表、討議、レポート提出	
市ヶ谷 リハラルアーツ	法 文 経営	基礎ゼミⅠ	市ヶ谷 基礎科目	選択	1年 (春学期)	2	専任	レポートや論文の書き方を学ぶ。レポートを書く上で知っておくべき基礎的な事柄を理解し、身につける。	講義とワーク	
		基礎ゼミⅡ			1年 (秋学期)	2				
国際文化	国際文化	チュートリアル	入門科目	選択	1年 (春学期・隔週)	1	専任	「読み書き」に重点をおき、図書館の利用法、文献の検索法、レポートの書き方、プレゼンの仕方などの基礎的なアカデミックスキルズや、課題を自分で見つけて解決策を考えるとといった大学生としての心構えなどを学ぶ。	発表やレポート提出	1年生全員が履修
人間環境	人間環境	基礎演習	フレッシュマン科目	必修	1年 (秋学期)	2	専任	文献や資料の検索法、プレゼンテーションやレジュメの作成法、議論の方法、レポートの執筆方法等を身につける。	発表やレポート提出	1年生全員が履修するよう指導
		人間環境学への招待	フレッシュマン科目	必修	1年 (春学期)	2	専任	①人間環境学部での学びのあり方を習得するための基本的な姿勢を学ぶ。 ②人間環境学部での勉学の方向づけを学ぶ。 ③多様な学問分野やアプローチ方法を学ぶ中で、自分の関心を明確にし、それ以降のコース選択・科目選択のガイドとなる情報を得る。	レポート提出や試験	1年生全員が履修
市ヶ谷 リハラルアーツ	キャリア デザイン	基礎ゼミ	ILAC科目/市ヶ谷 基礎科目	必修	1年 (春学期)	2	専任・兼任	大学における学習のあり方を理解し、基本的な学習能力を身につけること	発表やレポート提出	
キャリア デザイン	キャリア デザイン	キャリア研究 調査法入門	専門(基幹科目)	必修	1年 (秋学期)	2	兼任	高校までに学習した基礎的数学や国語や社会の知識・技能を発展させて、社会調査の基本的な考え方や技能をマスターする。	発表、レポート提出や試験	
デザイン工	建築学科	スプリングセミナー	基盤科目(総合系)	必修	1年 (春学期・不定期)	2	専任	作品発表・建築調査・街歩きなどを行い、建築に触れる初めての経験を通して、学ぶことの重要性や楽しさを認識し、大学での学習生活をスムーズに始められるように支援する。	出席・発表やレポート提出	
	都市環境デザイン 工学科	導入ゼミナール(都市)	専門科目(導入科目)	必修	1年 (春学期・不定期)	1	専任	科目履修から資格取得・就職などのガイダンスをはじめ、コンピューターリテラシ、図書館利用ガイダンスなども含め、専門的な学習への導入を支援する。	出席・発表やレポート提出	
	システムデザイン 工学科	導入ゼミナール(SD)	専門科目(導入科目)	必修	1年 (春学期・不定期)	1	専任	科目履修から資格取得・就職などのガイダンスをはじめ、コンピューターリテラシ、図書館利用ガイダンスなども含め、専門的な学習への導入を支援する。	出席・発表やレポート提出	
GIS	GIS	Academic Writing Skills I	基礎科目	必修	1年 (春学期)	2	専任・兼任	学術的な用語や文章を効果的に使用し、論理的なエッセイを作成する。正確な情報源を参照・引用し、複数のエッセイ案を校正、編集、修正することで、学術論文の正式な構造を学ぶ。	課題、エッセイ、プレゼンテーション	TOEFL iBT writing 22以下者全員、IELTS writing 6.0以下者全員、TOEFL-ITP 576点以下者全員
		Academic Writing Skills II	基礎科目	必修	1年 (春学期・秋学期)	2	専任・兼任	研究論文を計画し作成する。学術的な情報源を正しく選択して活用する。既存の調査を自身の研究により発展させ、研究論文を校正、編集、修正する能力を高める。	課題、エッセイ、プレゼンテーション	全員
		Reading Skills I	基礎科目	必修	1年 (春学期)	2	兼任	正確に教材を読むこと、かつ批判的思考力を鍛えることから、リーディングへの自信とスピードを身につける。	課題、試験	TOEFL iBT writing 19以下者全員、IELTS writing 5.5以下者全員、TOEFL-ITP 499点以下者全員
		Reading Skills II	基礎科目	必修	1年 (秋学期)	2	専任・兼任	リーディングへの自信とスピードを身につけるとともに、大学での学習のための批判的思考力を高める。	課題、試験	全員

		Freshman English I	基礎科目	必修	1年 (春学期)	1	兼任	リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングスキルを向上する。	試験	TOEFL iBT writing 19以下者全員、IELTS writing 5.5以下者全員、TOEFL-ITP 499点以下者全員
		Freshman English II	基礎科目	必修	1年 (春学期)	1	兼任	リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングスキルを向上する。	試験	TOEFL iBT writing 19以下者全員、IELTS writing 5.5以下者全員、TOEFL-ITP 499点以下者全員
経済	経済	入門ゼミA	基礎教育科目	必修	1年 (春学期)	2	専任	高校から大学への橋渡しのために設置された、いわば大学入門講座で、基本的コミュニケーション能力(読み・書く・話す・聞く)を身につけます。	発表やレポート提出	第1回目の講義で、詳細を説明する。 2016年度入学生から半期科目となった。
		入門ゼミB			1年 (秋学期)	2				
社会	社会	基礎演習Ⅰ	総合科目	選択	1年 (春学期)	2	専任・兼任	論文・レポートの書き方、発表・討論の仕方、資料収集の方法など大学生に必要な勉強の方法や技術を修得する。	発表やレポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
		基礎演習Ⅱ	総合科目	選択	1年 (秋学期)	2	専任・兼任			
現代福祉	福祉コミュニ ティ・臨床心理	基礎演習Ⅰ	総合教育 (学部共通)科目	必修	1年 (春学期)	2	専任	学部の学習の基礎となるスキル(ディスカッション、プレゼンテーション、レポートの書き方、情報収集)と知識を習得するとともに学部の理念を学ぶ。また、学生同士、学生と教員の交流を通して、豊かな人間関係を育む。	発表やレポート提出	1年生全員が履修するよう指導している。
		基礎演習Ⅱ	総合教育 (学部共通)科目	必修	1年 (秋学期)	2	専任			
スポーツ 健康	スポーツ 健康	スポーツ 健康学入門	視野形成科目	必修	1年 (春学期)	2	専任	学習の基礎となるスタディ・スキルを習得して大学生活への適応力を身につけるとともに、学生同士あるいは学生と教員の交流を通して人間関係を育む。	発表やレポート提出	
理工 生命科学	理工・ 生命科学	文章作法	教養科目	選択	1年 (春学期・秋学期)	2	兼任	正確な文章を書き、正確に読み取る能力の向上をめざす。	演習や試験	理工学部・生命科学部教養科目<各学科共通>□
		情報リテラシーと 表現技術	教養科目	選択	1年 (春学期)	2	専任・兼任	コンピュータリテラシーの入門・応用編であり、情報処理技術の基礎的な骨格をなす。	発表やレポート提出	理工学部・生命科学部教養科目<各学科共通>□
		情報処理技法	教養科目	選択	1年 (秋学期)	2	専任・兼任	技術者として最低限身につけるべき基礎的な情報処理技法について学習する。	レポート提出や試験	理工学部・生命科学部教養科目<各学科共通>□
理工	理工	入門数学	教養科目	選択	1年 (春学期)	1	兼任	微分積分学(及び)演習Ⅰをフォローする講義・演習。高校数学の復習から始め、上述講義の進度に合わせて演習、解説を行う。	演習と解説	
		入門物理学	教養科目	選択	1年 (春学期)	1	兼任	古典力学の入門的な内容を学習し、力学の中心となる概念や法則を理解することを目的とする。	演習と解説	
情報科学	情報科学	情報科学入門	専門科目	必修	1年 (春学期)	2	専任・兼任	情報科学の分野に特有の基本的な概念を学ぶことによって分野への理解を深めます。ここでは、基礎を学ぶ際に重要になる「アルゴリズム」、「計算」と、実世界の問題を解く際に重要になる「モデル化」について学びます。	課題や試験、 一部発表	
		数理実験	専門科目	必修	1年 (春学期)	1	専任・兼任	基礎的な数理分野の実験を通じて、情報科学分野における「科学的なアプローチ」とレポートや論文などで必要となる「理系の作文技術」の基礎を学びます。	レポート提出	
		コンピュータシステム入門 1	専門科目	必修	1年 (春学期)	2	専任・兼任	情報科学を学ぶ上では、パソコンやスマートフォンを使うという高校までの情報システムへのアプローチから、情報システムを動かしているコンピュータやネットワークを構造や仕組みから知るといった意識の転換が重要になります。ここでは、コンピュータやネットワークといった情報システムを支える基盤技術について、仕組みや役割を基礎から学びます。	レポート提出や試験	
		コンピュータシステム入門 2		必修	1年 (秋学期)	2	専任・兼任		レポート提出や試験	
情報科学 リテラン	専門科目	必修	1年 (秋学期)	2	専任・兼任	情報科学を学ぶ上で必要となる、「情報科学の技術文献を英語で読む力」を強化します。併せて情報科学の技術文献を記述する際に使われる文書処理系の利用についての学びます。	課題と試験			